

〈育てたい子供像〉
きれいな心の子
大きな夢もつ子
笑顔いっぱいの子

たかせの子



平成28年度 平成29年1月10 日 (第11号)

新しい年を迎え、第3学期スタート

今学期もご理解とご支援、よろしくお願いいたします

明けましておめでとうございます

皆様にとって希望に溢れる一年となりますよう

心からお祈り申し上げます

学校長 宮崎 新 悟

18日間の冬休みが終わり、明るく元気な声が学校に戻ってきました。児童数は253名、第3学期のスタートです。ひんやりとした空気が漂う体育館に整列した子供たちは少しかしこまり、整然としていました。始業式であることに加えて、新年を迎えて一人一人が頑張ろうという気持ちをもっていたからだと思います。

式辞では、最初に、箱根駅伝で3連覇を果たした青山学院大学の原監督の言葉を引用して、「何事も、基礎・基本を大切にすることが、大きな進歩や成長につながる」とまた、辛いことや大変なことがあっても、楽しむことが大切だということをお子たちに伝えました。次に、「とり年」に関連して、漢字の「鳥（とり）」や「佳（ふるとり）」について、具体例を示しながら話しました。

その後、1学年の豊田悠輝さん、當田莉沙さん、5学年の澤田栞奈さん、谷川舞衣さんが新年の抱負を述べました。それぞれが、学習や運動に関する目標などを自分の言葉で、三つずつ力強くしっかりと述べることで、頼もしく思いました。

3学期は、各学年のまとめをする大切な学期です。1学期や2学期と比べると短いのですが、子供にとっても教師にとってもゴールを意識しやすい学期です。粘り強くがんばり続ける子供の育成を願い、教職員一同、気持ちを一つに教育活動に取り組みたいと思います。今学期もご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。



校内書き初め展 1月11日～13日 (15:45～18:00)

校内書き初め大会を実施しました

始業式の後、低学年(硬筆)は各教室で、中・高学年(毛筆)は時間をずらして体育館で恒例の書き初め会を行いました。張り詰めた空気の中で書き初めに取り組む子供たちの姿はとて素敵でした。今年も各学年2割程度の入賞者を決め、賞状を渡します。各学年が書いた今年の課題は右のとおりです。なお、校内書き初め展を開催しますので、子供たちの力作をぜひご覧ください。

1年:「つるぎ」 2年:「竹うま」
3年:「思いやり」 4年:「光る立山」
5年:「広い世界」 6年:「心に太陽」



ご協力ありがとうございました

「学校経営に関するアンケート」集計結果です

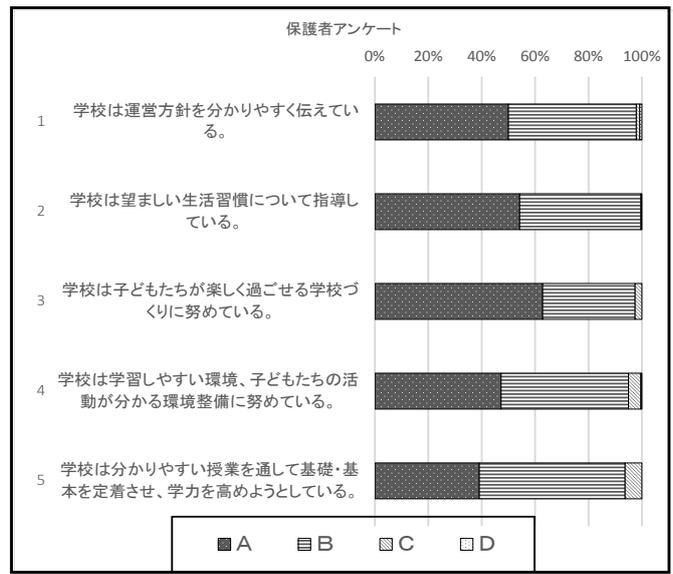
12月に実施しました「学校経営についてのアンケート」へのご協力、ありがとうございました。おかげをもちまして、約95%の保護者の皆様よりご回答をいただきました。設問に対して、A（よくあてはまる）及びB（ややあてはまる）と回答された割合の合計が、今回調査した5項目全てにおいて90%を上回る結果となり、教職員一同、これからも子供たちのために頑張りたいという意欲を高めているところです。以下、アンケート結果の詳細並びに考察をご報告いたします。

【集計結果】 【A:よくあてはまる、 B:ややあてはまる、 C:あまりあてはまらない、 D:全くあてはまらない】

	内 容	A	B	C	D	A+B
1	学校は運営方針を分かりやすく伝えている。 ・たかせ小ガイド2016・HPリニューアル・学校・学年だより・安全メール 等	50.0 %	47.9 %	1.3 %	0.8 %	97.9%
2	学校は望ましい生活習慣について指導している。 ・あいさつ運動週間・あったか言葉の推進・学習習慣チェックデー 等	54.2 %	45.4 %	0.4 %	0.0 %	99.6%
3	学校は子供たちが楽しく過ごせる学校づくりに努めている。 ・異学年交流縦割り活動・学校からつぼタイム・担任とのふれあい週間 等	62.8 %	34.6 %	2.6 %	0.0 %	97.4%
4	学校は学習しやすい環境、子供たちの活動が分かる環境整備に努めている。 ・空調設備の整備・教室や廊下の掲示板の活用 等	47.3 %	47.7 %	4.6 %	0.4 %	95.0%
5	学校は分かりやすい授業を通して基礎・基本を定着させ、学力を高めようとしている。 ・読書タイム・漢字計算大会・家庭学習の習慣化 等	39.1 %	54.6 %	6.3 %	0.0 %	93.7%

【考察1：5項目について】

- ◆5項目とも、肯定的（「Aよくあてはまる」「Bややあてはまる」）に回答された割合の合計が、目標に掲げていた90%を上回り、良好な結果となりました。
- ◆「1 学校は運営方針を分かりやすく伝えている」の項目に対して肯定的に回答された割合の合計は97.9%でした。今後も、運営方針を積極的に伝えていきたいと考えます。また、ホームページをさらに充実させるとともに、教育・安全情報メールの効果的な活用、運用に努めたいと考えます。
- ◆「2 学校は望ましい生活習慣について指導している」の項目に対して肯定的に回答された割合の合計は99.6%で、5項目の中で最も高い結果となりました。子供たちの生活習慣をよりよいものにするためには、学校と保護者の皆様との連携・協力が不可欠と考えます。これからも保護者の皆様と気持ちを一つにして、すてきな「たかせの子」の育成を目指して、教職員一同、頑張りたいと思います。
- ◆「3 学校は子供たちが楽しく過ごせる学校づくりに努めている」の項目に対して肯定的に回答された割合の合計は97.4%でした。今後も、「歌声が響き合い、楽しくて、夢が広がる学校」を目指し、異学年交流縦割り活動などを充実させたいと考えます。
- ◆「4 学校は学習しやすい環境、子供たちの活動が分かる環境整備に努めている」の項目に対して肯定的に回答された割合の合計は95.0%でした。今後も、限られたスペースや空間ではありますが、子供たちのためにできることを考えていきたいと思えます。
- ◆「5 学校は分かりやすい授業を通して基礎・基本を定着させ、学力を高めようとしている」の項目に対して肯定的に回答された割合の合計は93.7%でした。目標としている90%は超えています。5項目の内では最も低い結果となりました。学力の向上につきましては、これまで



も様々な取り組みを進めてきてはいますが、まだまだ課題があると考えています。3学期は、各学年のまとめの学期です。学校では、これまで以上に結果にこだわり、子供たちが「分かった」「できた」というような手応えをもって学習できるように授業改善に努め、それぞれの学年で学ぶべきことをしっかり身に付けさせて進級させたいと考えています。また、家庭学習についても、パワーアップノート番付表の活用や強化月間の設定などを通して、充実させていきたいと考えています。

【考察2：自由記述について】

学校運営に関して、好意的なご意見をたくさんいただき、意を強くしているところです。また、健康・安全、学習、施設設備等に関して幾つかの要望もいただきました。ここでは、いただきました要望に対しまして、Q&Aの形で回答させていただきます。

〈健康・安全〉

◆Q1：感染症予防のため、インフルエンザや胃腸炎などが認められたら、ランチルームでの食事は速やかに避けるようにした方がいいと思います。

A：ご心配、ありがとうございます。本校では、インフルエンザ等の集団感染の兆しが見られた学級は、速やかに学級での給食対応をとるようにしています。

◆Q2：冬期間の教室の室温、湿度はどれくらいなのでしょう。

A：冬期間は、教室でストーブを使用しています。十分に暖かく、体操服の上に他の衣類を羽織る必要はあまり感じないようです。

◆Q3：セブンイレブンの横断歩道（アピタ方面に向かう道）にも歩行者用の信号を取り付けて欲しい。学校からもお願いしていただきたい。

A：ご心配をおかけしています。通学路でもありますので、取り付けることが可能かどうか検討したいと思います。

〈施設・設備〉

◆Q4：2年1組の教室が狭い。学習参観などでは保護者が全員入れません。

A：ご心配とご迷惑をおかけしています。現状では教室を別に設けることは難しいです。2年1組の教室は元々は会議室でしたが、児童数や学級数の増加に対応し、やむなく教室に改築して利用しています。狭くて子供たちに不便を感じさせることもありますが、教師と子供たちとの距離が近い、しっかりと集中して学習できる等の良い点もあります。子供たちには良い点が多いということを伝え、楽しく学習して欲しいと思っています。

◆Q5：トイレが暖房便座ではないので、腰を浮かして使用しているようです。

A：ご心配をおかけしました。トイレは暖房便座対応です。12月上旬より暖房便座のスイッチを入れました。

〈学習〉

◆Q6：校外学習など、授業外の勉強時間が多いように感じます。

校外学習や野外学習などをもう少し増やして欲しいと思います。

A：校外学習や野外学習は、学習指導要領に示された各学年の内容を子供たちがしっかり学習し、身に付けることができるよう、計画的に実施しています。したがって、学年によって実施時間数は異なります。

◆Q7：家庭での自主学習がなかなか身に付かず、パワーアップノートが進みません。

宿題の量が多いのか、なかなか終わりません。自主学習ができません。

A：宿題の量については、「これが適量」という基準はありません。学校での学習の復習や予習という観点で出すことが多いと思いますが、家庭での学習習慣の定着を狙って出すこともあります。学校から宿題が出されても、出されなくても、自主学習をする子供たちを育てたいと思っています。宿題をするのは当たり前という発想です。ですから、「宿題は終わったの？」という問いかけは、好ましくありません。ぜひ、「自主学習は何をしたの？」という問いかけをするよう、心がけていただきますよう、お願いします。

◆Q8：学期末や学年末までに単元を終わらせることに精一杯で、子供が楽しく学ぶということが後回しになっているように思います。

A：ご心配をおかけしました。結果にこだわり、子供たちが「分かった」「できた」という手応えを感じながら学習できるよう、今後も、授業改善に努めていきたいと考えています。

〈その他〉

◆Q9：お便りなどに掲載されているクラスの集合写真を購入できたらと思います。

A：遠足や校外学習などのクラスの集合写真があると、親としてはうれしいものです。ただ、教師の仕事が煩雑になり、それによって教師と子供が向き合う時間が少なくなるとは困ります。今年度は難しいと思いますが、市内の小学校の状況等を確認しながら、可能かどうか検討したいと思います。



**** 今がチャンス、子供を褒めて育てよう ****

新しい年を迎え、子供たちは「今年は…」「今年こそは…」と、気持ちを新たにしているに違いありません。そんな子供たちの気持ちやモチベーションをより高めていくためには、出来ていないことを注意するよりも、些細なことでもいいから以前よりも良くなったことを褒めることが効果的です。ところが、出来ていないことはすぐに分かりますが、出来ていることに気付かなかつたり、気になかなかつたりすることが多いため、親はついつい、子供に対してだめ出しをしてしまいます。子供を変えたい、高めたいと思うなら、まず、保護者自身が意識を変えていく必要があります。一人一人の子供たちのよさを大切にするためにも、もう一度、「子どもが育つ魔法の言葉（ドロシー・ロー・ノルト 博士著）」から「子どもはみんな、違うんだ」を紹介します。

※以前にも、「学校だより5月号」で紹介しました

子どもはみんな、違うんだ

覚えておこう

子どもは、成長の設計図をもっている

子どもは、その子の速さで伸びる

子どもは、その子の時間で育つ

子どもは、その子の図案で実る

子どもは、その子の歩はばで学ぶ

子どもは、その子の資質で生きる

子どもは、その子の頭で考える

子どもは、その子自身の人生の約束を果たす

子どもは、みんな、違うんだ

子どもを励まそう

自分を大切にするように

人との違いを生かすように

全力でぶつかるように

よい実を結ぶように

愛の心を感じるように

この世の違いを認められるように

命を救うように

確かな未来をつかむように

忘れないでほしい

その子は、この世にたった一人しかいないのだ

子どもは違う

一人ひとり、みんな違う

そんな子どもがいるから

この世にすばらしい

違いが生まれる



**** 1月 及び 今後の主な行事予定です **** ☆PTA関連行事 ****

- 1月10日(火) 第3学期始業式、書き初め大会、給食開始
- 11日(水) 校内書き初め展(～13日) アルミ缶エコキャップ回収
- 13日(金) 学習習慣チェックデー
- 16日(月) ☆スキー練習会指導ボランティア事前打ち合わせ 19:30～
- 17日(火) 防犯パトロール隊
- 18日(水) アルミ缶エコキャップ回収 ☆PTA第6回運営委員会
- 20日(金) 校内スキー練習会(4・5・6年 糸魚川シーサイドバレースキー場)
- 25日(水) 児童集会、アルミ缶エコキャップ回収
- 2月1日(木) 学校集金口座引き落とし日
- 3日(金) ☆学習参観、学級懇談会(1～5年) 中学校進学説明会(6年生)
- 11日(土) ㊦建国記念の日
- 16日(木) ☆PTA新旧引き継ぎ役員会 19:30～
- 24日(金) ☆卒業を祝う会 学校評議員会(第2回)
- 3月1日(水) 学校集金口座引き落とし日
- 17日(金) 平成28年度卒業証書授与式
- 20日(月) ㊦春分の日
- 23日(木) 給食最終日
- 24日(金) 平成28年度修了式

